

令和5年度 シラバス (芸術科 美術 陶芸)

芸術	自由選択 B	科目名	陶芸
使用教科書		資料・ワークシートで対応	
履修学年		第 3 学年	履修単位 2 単位
学習の目標	工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。		
評価基準	①関心・意欲・態度	工芸の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や工芸文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組む。	
	②発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	
	③創造的な技能	創造的な工芸の表現をするために必要な技術を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	
	④鑑賞の能力	陶芸作品やその文化を幅広く理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	
その他留意点	用具や機械を大切に扱い、安全教育を徹底する。 作品制作への取り組み姿勢・作品・ポートフォリオ提出など総合的に評価。		

月	内容・考査	学習内容及び教材	時間配分
4	○陶芸の概要	・年間の学習計画や学習内容を学ぶ。	2
5	○手びねり成形	・手びねりの技法を学び、雑器やオブジェのデザインを考え制作する。	1 2
6	○タタラ成形	・タタラの技法を学び、雑器やオブジェのデザインを考え制作する。	1 2
7	授業内確認テスト		
9	○ロクロ成形	・ロクロ成形の全工程（機械操作・道具の扱い・成形・削り・釉薬がけなど）の基礎を学び、皿やコップを制作する。	1 8
10	授業内確認テスト		
11	○課題研究（感謝）	・陶芸のジャンルから自ら課題とするテーマを設定し、お世話になった人へプレゼントする作品を制作する。	6
12	○鑑賞	・読谷村のやちむんの里を訪問し、陶工の話聞く。工房見学。	2
1	○課題研究	・陶芸のジャンルから自ら課題とするテーマを設定し、お世話になった人へプレゼントする作品を制作する。	1 4
2	○課題研究発表		
	○校内作品展示	・課題研究の成果を発表する。	2